

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第33号

発行日：平成三十二年一月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28-9002

＝ 今年の反省を踏まえて具体化 ＝ 来年度の事業計画づくり進む

6部会から今月中には企画案提示

西成連区地域づくり協議会では、敬老者に目線を合わせた、新しい形式の敬老会を始め、西成連区で一斉に実施したごみゼロ運動や、広報の拡充（HPの充実）などの事業を展開した昨年を、当「西成連区地域づくり協議会元年」と位置づけていますが、今年度は、新たなキーワードを「絆」と定め、新規事業に「ご近所の絆一見守りネットワーク」事業をスタートさせ、構成団体のお骨折りで効果的に実施していただき、各方面からも絶賛を頂いています。

来年度は、これまでの諸事業を基礎に、より一層の充実を目指しつつ、西成連区住民の結びつきを、強固なものにして行くため、たとえば「見守りネットワーク」事業一環のとして、認知症についての理解とサポート体制づくりなどについて検討が進んでいます。

西成連区の各地域住民が協力し、相互に助け合い、見守り、支えあうことで、温もりの溢れる地域「西成」を目指しています。

今月中には、6部会長を交えた合同役員会を開催し、新規事業の企画案を提示していただくことにしています。引き続き期待ください。

ご近所の絆一見守りネットワークの

独居老人・老々世帯はお届出ください

誰もが安心して暮らすことのできる西成連区づくりの目指し、「絆」をキーワードに掲げ、西成連区55町内の協力を得て調査をした結果は、本紙10月号（第31号）で報告しましたが、独居老人は614世帯、老々世帯は700世帯で、対象世帯率は11.6%でした。一方、一宮市が直接郵送で実施した災害時要援護支援登録者は257軒でした。予測できない緊急時の支援が必要になったときの協力者は、向こう三軒両隣の「気配り・目配り・声掛け」ですので、まだ、未届または未登録の場合は、自分自身の安心・安全を守るために手続きしてください。

歳末たすけあい運動

12月1日～25日

歳末たすけあい運動の歴史は昭和27年ころにさかのぼります。はじめは、生活保護を必要とする世帯や施設入所者への見舞金として配分するための募金でした。

その後、住み慣れた地域で暮らしていくために必要な、さまざまなささえあい活動が展開されるようになり、だんだんそれらの活動への募金配分が行われるようになってきました。

年 末

交通安全週間

12月1日～10日

西成連区街頭監視

12月6日

HPをご覧ください。「にしなり」（ひらがな）で検索！

<http://www.138nr.com/>